

たるみ歯科通信

2021年6月 No. 126

こんにちは。歯科衛生士の外村です。

鬱陶しい天気が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今年の梅雨入りは例年になく早かったので、梅雨が長くなってしまおうそうです。

雨が降る日が多いとストレスが溜まりますよね。

私にとってストレス解消法の一つは「食べること」です。

色々大変な今の世の中ですが、おいしいものをたくさん食べて

ストレスを吹き飛ばして毎日頑張っていきましょう！



ということで今回の通信は、いつまでも食事を楽しむために大切な歯である、

「大臼歯（だいきゅうし）」についてお話します。

前から6番目にある第一大臼歯は「6才臼歯」、7番目にある第二大臼歯は

「12才臼歯」と呼ばれ、それぞれ6才頃と12才頃に一番後ろに生えてきます。

大臼歯は噛むためにとても大切な歯ですが、

どちらも乳歯が抜けて生えかわる歯ではないため、

出てきたことに本人が気づかないこともよくあります。



6歳臼歯が生えてきたら保護者の方が仕上げ磨きでしっかり磨いてあげてください。

中学生になると生活が不規則になりがちで、スポーツドリンクなどの砂糖が入った

飲料に触れる機会も多くなります。この時期に生えてくる12歳臼歯は自分自身で

しっかりケアをしないといけないので特に注意が必要です。

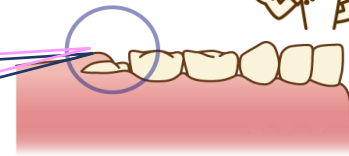
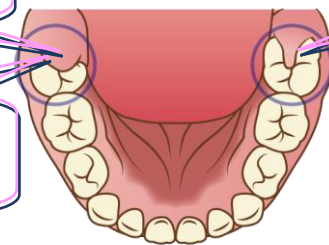
大臼歯 こんなことがおこります！

「萌出性歯肉炎」で痛みや出血がみられることもある。

複雑な溝が多く歯磨きが難しい。

生えたての未熟な歯なのでムシ歯になりやすい。

背が低く、上下の歯が噛み合っていないので、汚れが流されずに残りやすい。



大臼歯 こうやって守りましょう！

お口を閉じ気味にして、タフトブラシなどの小さめの歯ブラシを横から突っ込むようにしてしっかり毛先をあててください。フッ素入りの歯磨剤やフッ素ジェルを使って磨きましょう。



当院には小児歯科専門医が在籍しております。ご家庭でのケアに加えて、歯科医院での定期健診を続けながら、大事な大臼歯をしっかり守っていきましょう！

▼ お知らせ ▼

18日(金)の午前 は院内研修のため 休診 といたします。

